

SINCOL®

オーダーカーテンのお取り扱いについて

この度は弊社カーテンをお買い上げいただきありがとうございます。
商品をより美しく、末永くご愛用いただけますよう、お取り扱い上の注意点をご紹介いたします。
お読みいただいた後も大切に保管し、お洗濯の際などにご覧ください。



警告

タッセル（カーテンの留めひも）が体にまきついたり、
引っかかるようなことをしないでください。
事故の恐れがあります。
小さなお子様のいらっしゃる場合には特にご注意ください。



一般社団法人 日本インテリアファブリックス協会

カーテンの特性について

- **カーテン生地は繊維製品の特性上、室温、湿度、生地の重みにより伸縮する場合があります。**
特にレーヨン、綿、麻、絹などの天然素材は寸法変化の大きい繊維ですのでご注意ください。
- **特に天然素材(綿・麻など)は独特のにおいがすることがあります。**
人体への影響はありません。においては時間と共に徐々に薄れます。気になる場合は換気をお願いします。
- **縫い目からの光漏れが気になる場合があります。**
特に遮光生地やヒダをあまり取らない縫製の場合に目立つことがあります。
- **ヒダが出にくい商品があります。**
カーテンを吊った状態でヒダごとにきれいにたたみ、タッセルで留め、10日程度癖付けしてください。
- **シワが目立つ場合があります。**
特にベルベット(起毛)生地や、綿、麻、絹、レーヨンなどを使用した生地、薄手のボイル生地などはシワが目立つことがあります。製品に縫い付けられている洗濯ラベルの表示に従い、温度設定を厳守の上アイロンがけを行うことでシワを軽減することができます。

普段のお手入れ

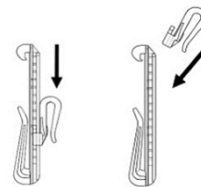
カーテンをきれいに保つことは、生地の寿命をのばすだけでなく、お部屋の空気を清潔に保つことにもつながります。カーテンの特性を理解し、日ごろから丁寧なお手入れを心がけましょう。

- **ホコリはやさしく取り除きましょう。**
生地を傷めないよう、掃除機の弱で生地表面のホコリを吸い取るようにしてください。
カーテンレールのホコリも掃除しましょう。
- **シミ・汚れはすぐに取り除きましょう。**
汚れは長時間放置すると落ちにくくなり、生地を傷める原因になります。小さなシミ・汚れは市販の繊維製品用のシミ取り剤で除去できる場合がありますが、広範囲の汚れはクリーニングしてください。
なお、シミ取り剤は必ず事前に目立たない部分で試し、異常がないことを確認の上でご利用ください。
- **漂白剤、芳香剤、香水などをカーテンに吹きかけないでください。**
変色・色落ちの恐れがあります。その他カビ取り剤、トイレ用洗剤、消毒剤なども絶対に使用しないでください。
- **結露はしないように、換気と除湿に心がけましょう。**
結露水がカーテンに触れるとカビやシミの原因になります。裏にラミネート・コーティング加工を施した商品は水分により劣化（変色・ひび割れ・はがれ）が早まるため、特に注意が必要です。
シャワーカーテンはご使用後、水で汚れを洗い流しておきましょう。

カーテンフックの調整方法

アジャスターフック

- **丈を長くしたいとき**
一旦下げて取り外し
上からさしこみます。

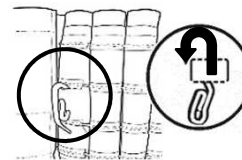


- **丈を短くしたいとき**
フック部分を押し下げます。



ギャザーフック

一般的なアジャスターフックのような、フック自体での丈調整機能はありません。幅はフック間隔が約10cmで、通常のカーテンに比べてカーテンレールのランナーが多く必要です。取付時はレール両端のストップにカーテンの一番端のフックを掛け、両端から中央に向かって均等に掛けます。幅が大きくカーテンがだぶつく場合は両端のフックを1つ内側のループに掛け替えて調整します。



シンコール株式会社

🔍 シンコール 北陸

検索

<https://www.sincol-kys.co.jp>



ホームページ



事業所一覧

記載内容は2026年6月現在の情報です。今後仕様変更や法改正などにより内容が変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

カーテンのクリーニングは生地を寿命をのばすだけでなく、お部屋の空気を清潔に保つ役目があります。厚手の生地は1年に1回、レースなど薄手の生地は半年に1回程度のお洗濯をおすすめします。

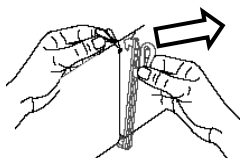
部品の取り付け・取り外し方法

お洗濯の前にカーテンについている部品を外します。部品はなくさないように保管しましょう。

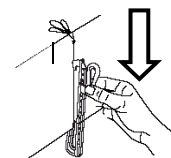
ブレ止めアジャスターフック

■ 取り外し方法

① 上部の突起を外します。



② 下方へ引き抜きます。



■ 取り付け方法

取り外しの際と逆の順序につけます。

- ① フックを下から差し込みます。
- ② 上部の突起にひっかけます。

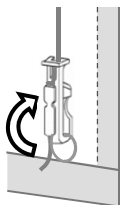
左図はブレ止め付きフックの場合の外し方です。縫製仕様によっては、上部の突起がなく簡単に抜き差しができるフックを付属している場合があります。

スタイルカーテン（昇降タイプ）部品

安全のため必ずメカを窓から外して作業を行いましょう。

■ 取り外し方法

① 幕体を一番下までおろし昇降コードを外します。

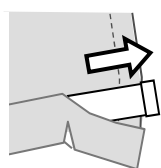


② 外せる部品を全て取り外します。

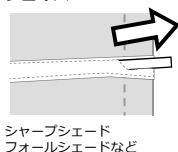
コードをはさみなどで切らないでください。元に戻せなくなります。



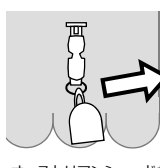
● ウェイトバー



● シェイパー

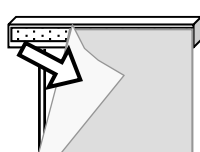


● 釣鐘型ウェイト



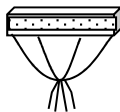
③ メカから生地を外します。

コードはメカから外さないようにご注意ください。



④ コードを軽く束ねます。

誤ってコードが抜けないようにします。生地を外したまま昇降操作を行わないようにご注意ください。コードが外れると元に戻せなくなります。

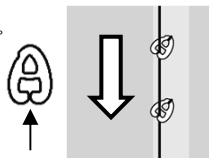


■ 取り付け方法

取り外しの際と逆の順序で取り付けます。

- ① 生地をメカにつけます。
- ② 取り外した部品をつけます。
- ③ 昇降コードをほどきリングに通します。
- ④ コードをコードアジャスターに巻きつけます。
- ⑤ 昇降コードが均等な長さで昇降するか確認します。

昇降コードは上から通します。通し忘れた場合にはリングの切込みから入れることができます。



お洗濯方法

■ カーテンについている洗濯ラベルの絵表示を確認します。

絵表示に従い洗濯・クリーニングを行いましょう。

1.洗濯処理	2.漂白処理	3.乾燥	4.アイロン	5.クリーニング
 液温は、40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる。	 塩素系及び酸素系の漂白剤を使用して漂白ができる。	 底面温度160℃を限度としてアイロン仕上げができる。	 石油系溶剤又はデカメチルペンタシクロシロキサンによる弱いドライクリーニングができる。 ※1	
 液温は、40℃を限度とし、手洗いができる。	 酸素系漂白剤の使用はできるが、塩素系漂白剤は使用禁止。	 底面温度120℃を限度としてアイロン仕上げができる。		
 家庭での洗濯禁止。	 塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止。	 アイロン仕上げ禁止。	 弱い操作によるウェットクリーニングができる。	
	 タンブル乾燥禁止。		 ウェットクリーニング禁止。	
	 日陰の吊干し乾燥がよい。			

※1：石油系溶剤(蒸留温度150℃～210℃、引火点38℃～70℃)。デカメチルペンタシクロシロキサン(沸点210℃、引火点77℃)

■ 繊維製品はお洗濯によりある程度の伸び縮みが起こります。

カタログに記載されている寸法変化率が目安ですが、使用環境により異なる場合がございます。特に天然素材のカーテンは寸法変化が大きいことをご承知おきください。

■ 厚手の生地(ドレープ)は年に1回、レースなどの薄地は半年に1回程度を目安にお洗濯しましょう。

汚れがついたまま長時間放置すると、生地の劣化が早まり、洗濯時の刺激で生地の破れやほつれなどが起きる危険があります。また、汚れが落ちることで日焼けや色あせが目立つ場合があります。定期的なお手入れをお願いいたします。

■ ご家庭でお洗濯する場合

- ・洗濯ラベルに手洗いまたは洗濯機洗い表示がされている商品のみご家庭にてお洗濯が可能です。
- ・洗剤は中性洗剤をご使用ください。漂白剤の使用は洗濯ラベルの表記に従ってください。
- ・乾燥機は絶対に使用しないでください。
- ・手洗いの場合はやさしく押し洗いをします。もみ洗いは厳禁です。脱水は押し絞りをおすすめしますが脱水機を使用する場合は1分程度軽くしてください。
- ・洗濯機洗いの場合、水量は最大で、洗濯ネットに入れ、詰め込まずに洗います。

■ クリーニングに出す場合

誤った温度設定や乾燥方法などによりクリーニング事故につながる危険があります。クリーニング前にカーテンの寸法・洗濯ラベルの表記をクリーニング店の方と必ず一緒によく確認しましょう。

■ スタイルカーテンお手入れ時の注意点

- ・**クリーニング業者に依頼を。**
スタイルカーテンは特殊な縫製仕様のため、お手入れ時には特に注意が必要です。クリーニングをする際はカーテンのお手入れが可能なクリーニング業者様へご相談ください。
- ・**シェードタイプについているリングにご注意ください。**
リングが外せない仕様はリングが破損しないように必ず洗濯ネットに入れてお洗濯してください。
- ・**上飾り（バランス）はクリーニングができません。**
ウレタン等の芯地が全面に入っている上飾り（バランス）は型崩れが起きるためクリーニングできません。
- ・**房フレンジ、フリル・トリムつきカーテンの場合**
基本的にドライクリーニング表示ですが、クリーニングにより房の形が崩れる恐れがあります。一般的な縫製仕様のカーテンよりもクリーニングの刺激による破れ、ほつれが起きやすいので取り扱いにはご注意ください。